

「令和6年度 市民トーク」開催結果（相良地区）

以下のとおり結果を報告します。

1 日時等

- (1) 日 時 7月5日（金） 午後7時00分～午後8時30分
- (2) 会 場 ガスワンアリーナ牧之原 会議室
- (3) 内 容 市長からの市政報告・地区からの質問
- (4) 参加人数 72人

2 市長からの市政報告

当日の配布資料を添付

3 地区からの質問

別紙のとおり ※事前質問は回答書を配布・当日の会場での質問あり

4 当日の様子



令和6年度 市民トーク（相良地区）質問・要望一覧

日時：令和6年7月5日（金）

19時～20時30分

場所：ガスワンアリーナ牧之原

番号	事 項 名	担当部課
1	新たな学校づくりのコンセプトについて	学校教育課
2	自治会脱会希望者の対処について	地域振興課
3	女性の地域参画について	地域振興課
4	4月に発生したバス事故に伴う対応と今後について	地域振興課
5	市歌の活用について	秘書広報課
6	信号機の廃止について	危機管理課
7	信号機撤去後の安全対策について	建設課
8	大河ドラマを活用した具体的な施策について	市政報告にて
9	空港新駅の実現と人口流出の抑制について	市政報告にて
10	消滅可能性自治体の解消に向けた具体的な施策について	市政報告にて
11	産婦人科の設置について	市政報告にて

※この他、提出いただきましたご質問につきましては、後日地区を通して回答いたします。

令和6年度 市民トーク 相良地区（7/5 開催） 質問事項・説明を希望する市政内容

件 名	①新たな学校づくりのコンセプトについて
内 容	「新たな学校づくり」のコンセプトは「故郷大事」にあると考えます。 教育意図に拘わらず児童・生徒の「ふるさと学習」は、地域を知れば知るほど「地域離れ」を起こしているように思います。 学習の視点を「グローバルな考え方の育成」そして「故郷大事」を調和させたものにすべきと考えています。 小中高の学習の底流にこれを一貫して置き、これのため、児童・生徒自らが「何をすべきか、何を創造すべきか」の視点を持って学習する態度を養っていただきたいと考えますがいかがでしょうか？
回 答	本市では、子供たちに「次代を切り拓く力」の育成をめざし、心身のたくましさや思いやりの心などを大切にして、様々な人・もの・ことに触れ、多様性を受け入れるとともに、自分で新しい考えやアイデアを生み出し、主体的に行動できる人を育てたいという考えのもと小中一貫教育を推進しています。 その軸となるのが、牧之原市版キャリア教育「起郷家教育」であります。起郷家とは、郷に学び、将来を見通し、自ら行動を起こす人を指し、将来どこで生活しても、牧之原市で学んだことを糧にして、活躍してほしいという願いが込められています。 ご質問いただいた、「グローバルな考え方の育成」や「故郷大事」の思いや考えは、起郷家教育のプログラムにおいても大切にしている視点であります。「地域の再発見」では創作料理をとおして地域の資源を再発見し、企画力や創造力を育むプログラムです。「命と防災」では、自らの命を防災の視点で見つめなおし、地域の安全に貢

	献することや具体的な対策を立てて行動する力を育むプログラムです。「仕事と価値創造」では、未来を見据え、自分で価値を創り出す中で、自分が大切にしたい生き方や価値観を捉えなおすプログラムです。 このように、キャリア教育を体系的にとらえ「何をすべきか、何を創造すべきか」の視点をもった学習を、現在市内小中学校で推進しています。ご質問いただいた「新たな学校づくりのコンセプト」に沿った取り組みと思いは同じであると思います。各プログラムは完成されたものではなく、実践をとおしてブラッシュアップしていきたいと思います。 【担当：学校教育課】
--	--

令和6年度 市民トーク 相良地区（7/5 開催） 質問事項・説明を希望する市政内容

件 名	②自治会脱会希望者の対処について
内 容	人口減少問題は、全国的にも顕著であり全国共通の課題ではありますが、先日、消滅可能性自治体の発表があり当市も該当してしまいました。 当市は高齢化も進み、区内、組内においても役員の引き受け手がない所も見受けられます。 また、会費を払いたくない、近所づきあいが苦手、面倒臭い等の理由から組を脱退するような事例も当区に限らずあちこちであるように聞いております。 自治会は、行政との連携が必要な活動を行い、トップダウン型の組織です。ですから自治会を脱会すると地域の交流が減って孤立し、情報も入手できず、また、犯罪や災害に遭遇した時のリスク、など様々な問題が発すると考えます。 市にも様々な相談、苦情等が寄せられているとは思いますが、このような傾向は多様化が進む昨今、将来的にも増えていくと思われるので市としてどう対処していくのか、お示しいただきたい。
回 答	自治会（区や町内会）は、一定の地域に住む人たちが、さまざまな課題を共同で解決し、より良い地域社会を作っていくための、皆さまにとって、最も身近な自主会組織です。 祭典等、様々な活動を通じて地域住民同士の交流を図ったり、防犯活動や環境美化活動を通じて、安心・安全なまちづくりに向けた取り組みを行っていただいております。 また、災害時における助け合いなどは、日ごろの活動を通して築かれる「人と人とのつながり」が重要な役割を果たしております。 ご意見のとおり、少子高齢化の進行や、ライフスタイルの変化、

	一人暮らしや共働き世帯の増加などによって、地域のつながりが希薄化し、自治会活動に関心のない人や自治会の脱会を希望する人等の対応について、苦慮されていることと思います。 市といたしましては、転入・転居された方に対し、チラシを配布するなど、自治会への加入促進を推奨しております。 また、他市自治会で脱会防止のための取組を行っている事例もございますので、区長研修会等で情報提供を行うとともに、情報交換を行い脱会防止に努めてまいります。 自治会は、地域で自主的に組織・運営されるものであるため、加入も脱会も任意ということになりますが、引き続き、自治会の役割や自治会加入のメリットを理解していただけるよう啓発に努めてまいります。 【担当：地域振興課】
--	--

令和 6 年度 市民トーク 相良地区（7/5 開催） 質問事項・説明を希望する市政内容

件 名	③女性の地域参画について
内 容	ジェンダーギャップ（男女格差）について、元鳥取県知事片山善博氏が、静岡新聞「5 月 21 日」の紙面で、行政部門ジェンダーギャップ 32 位の我が県に対して自らの経験を話している。（ちなみに鳥取県は 3 年連続 1 位） 「鳥取県では、県庁職員が町内会の役員や PTA など地域で何かの役割を担う『一人一役運動』に取り組んだ。女性の社会参画と男性の家庭内労働参画は表裏一体」と述べている。 まさに、「女性が子育てしやすい社会」はごく当たり前のことで、「男性が子育てしやすい社会の実現」こそ目指すべき形なのではないでしょうか。 我がまちは女性の地域参画が遅れている地域です。 県立大学の学生十数人が昨夏、コミュニティに見学に訪れ、「区の役員に女性は一人もいません」というと皆あつけにとられていました。（その後、消防団に女性が参加している事を見聞し、立派なことだと感心しました） 区の役員に「一人一役」として女性の参加の奨励をお願いします。
回 答	自治会の役員や PTA 役員など選出につきましては、あくまで、それぞれの組織・団体の判断にお任せしている状況です。 しかしながら、自治会等の円滑な運営には、女性や若者など多様な考え方や意見が必要であることから、女性の役員登用は重要なことであると考えています。 参考までに、市で依頼している委員等については、市が設ける審議会委員における女性の割合は 3 割以上に努めるなど、女性の参画を積極的に促しています。

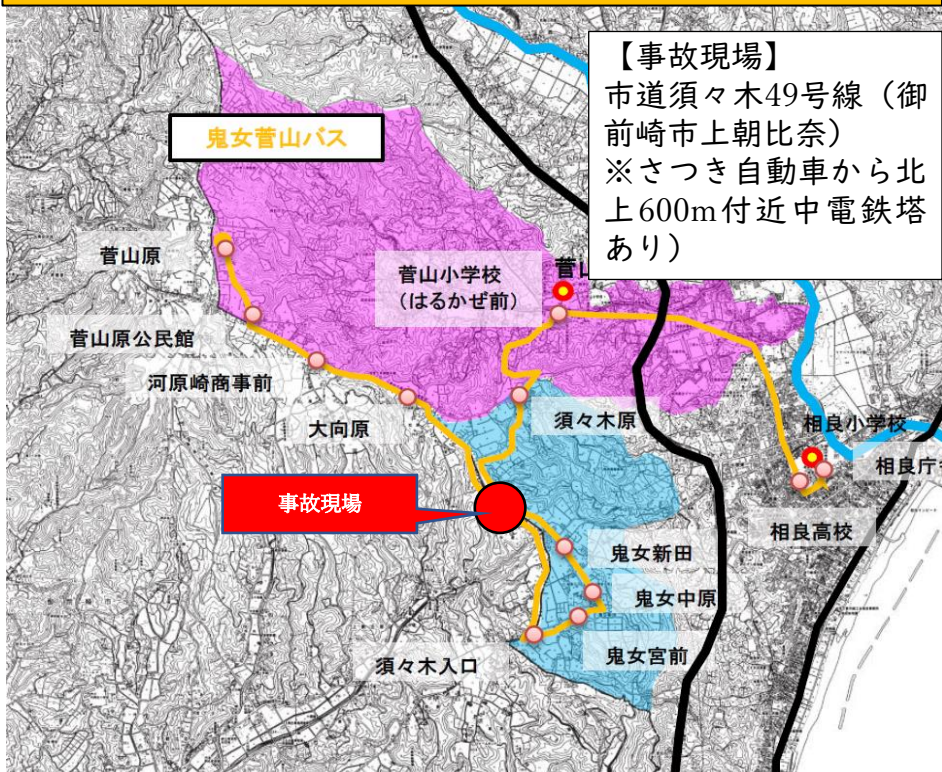
	自治会の運営においても、女性の参画により、「女性の役員の方が比較的話しやすいため、住民との交流が進んだ」、「避難所の授乳スペースやトイレの設置といった、男性とは異なる女性の視点からの防災という面で新しい気づきを与えることがある」等といったことも、国の調査から指摘されています。 市といたしましても、令和6年3月に策定した「第1次男女共同参画推進計画」に基づき、自治会への女性登用について啓発を図るとともに、近隣市町の取組みを参考に地区長会等で検討してまいります。 また、防災の観点からも女性防災指導員の育成や自主防災組織への女性参画を推進してまいります。 【担当：地域振興課】
--	---

令和6年度 市民トーク 相良地区（7/5 開催） 質問事項・説明を希望する市政内容

件 名	④ 4月に発生したバス事故に伴う対応と今後について
内 容	4月に発生した市営自主運行バス(鬼女菅山線)の事故説明会が保護者を中心にありました。 バスの事故についてはイメージが悪く、川崎幼稚園のこともあり不信感はありません。 事故発生から運行会社・地域振興課・相良小学校・学校教育課へと事故の情報は流れているが、事故が発生したのに誰も救急車を要請しておらず、最終的に運営会社から警察に通報がなされたのが1時間後で、この間、それぞれの担当は何を考えて行動していたのか、危機意識に欠けると思われる。 自宅に帰った児童を保護者自らが病院へ連れて行かなければならなかった状況は、あまりにも市営自主運行バスとしての対処がお粗末と言わざるを得ない。 今後、バスの運行についてどのように安全を担保していくのか、また、運営会社及び市の職員の危機意識の向上についてお伺いしたい。
回 答	4月11日に発生した市営バス鬼女・菅山線の事故については、ご心配、ご迷惑をおかけいたしました。 市が運行を委託しているバス事業者の初動対応等に問題があったため、バス事業者から業務改善報告書を提出させ、内容を確認後、市からバス事業者に対し、緊急時対応の改善や安全運転に対する社内教育の徹底等の業務改善計画の確実な履行を指示する「安全運転に係る措置命令書」を送付し、現在は、安全に運行をしております。 また、今回の事故では、保護者への連絡が遅れた点を反省し、事

	故等の緊急時の連絡体制について、改めて保護者説明会にて報告させていただきました。 その他、市の具体的な対応としては、緊急時チェック表を作成し、救急箱、A E D、車内カメラをバス車内に設置いたしました。 今後は、バス事業者の取組を定期的にチェックすると同時に、発注者である市の担当課といたしましても、交通安全研修を通じた危機意識の向上を図ってまいります。 【担当：地域振興課】
--	---

4月11日発生 of 鬼女・菅山線の事故の概要



【事故現場】

市道須々木49号線（御前崎市上朝比奈）
※さつき自動車から北上600m付近中電鉄塔あり）

【事故発生の時系列】

- ・午後2時45分 相良庁舎バス停を出発
- ・午後3時頃 **事故発生**
児童保護者が事故現場を通りかかり、児童を自宅に送り届けた
- ・午後3時17分 会社から事故の報告、市職員出発
- ・午後3時48分 市職員が現場到着
- ・午後4時05分 警察署へ連絡
- ・午後4時30分 警察署が現場へ到着

【事故以降の経過】

- ・4月23日 バス事業者が業務改善報告書を提出
- ・5月13日 バスの修理が完了したため、元のバスに戻す
- ・5月15日 菅小保護者説明会を開催
- ・5月16日 相小保護者説明会を開催
- ・6月6日 市から事業者に対し、安全運転に係る措置命令書を渡す

【事故の状況】

- ・単独事故 道路脇の茶畑に侵入
- ・乗車人数 相良小学校児童5人
(6年3人(男1・女2)
3年2人(男1・女1))

【事故原因】

■運行事業者事故報告書

走行中に時刻表に気を取られてしまい、お茶畑に突っ込んでしまった。

■警察の見解

わき見運転による物損扱いで捜査終了

【ケガの状況】

- ・6年生女児2人が榛原病院で受診、その後、帰宅。うち1人が後日再受診。
- ・3年生男児1人は、事故後、一旦帰宅し12日に受診。



令和 6 年度 市民トーク 相良地区（7/5 開催） 質問事項・説明を希望する市政内容

件 名	⑤市歌の活用について
内 容	かねてからの疑問に思っている事ですが、「故郷を思う心」は故郷に由来する出来事や経験から生み出されます。 様々なイベントの時、皆で唄った歌があるという機会は他にない大きな意味を持っています。 就職先や大学から帰省した時、市歌のメロディが同報無線で流れれば、必然的に「故郷」を思うと思います。 今はメロディが先行していて、時刻を知らせるだけになっています。 このなじみやすい素晴らしい曲と歌詞「うみ・そら・みどり牧之原」を市歌としてもっと活用できないでしょうか。 メロディは毎日聴いているのに、唄った経験をもつ市民は果たして何人いるでしょう。 市議会の議事の前に、区長会の冒頭に、グランドゴルフ大会の終わりに、文化祭の最初や課題曲・合唱曲として「市歌を唄おう」運動を展開して欲しいです。 藤田まさとのふるさとです。新聞文芸欄の牧之原市民の入選は県下でも有数で、多くの優れた短歌、俳句が生まれています。 「文化のまち」「歌の牧之原」はキャッチコピーとして十分インパクトがあります。 「海・空・みどり」を題材に短歌、俳句を全国から募集し、「牧之原賞」・「藤田まさと賞」を制定する資格が我がまちにはあります。 「文芸まきのはら」の全国展開にもつながると考えます。
回 答	御提案をいただき、ありがとうございます。 市では、10 年前の市政施行 10 周年記念として作成したこの歌に

	ついて、本年の『はたちの集い』の中で歌唱を行いました。 また、「生きがいリーダー連絡協議会『ハッピー』」の皆様が認知症予防等のために、この歌を用いた「元気アップ体操」を考案し、イベントや高齢者サロンでの披露をしていただいています。 来年の令和7年に、牧之原市は市政施行 20 周年を迎えます。再度気運の醸成を図るため、『はたちの集い』での歌唱、市主催の記念式典や行事・イベント等での歌唱を検討するとともに、現在メロディのみを流している同報無線でのチャイムを歌詞付きで流すよう、調整していきます。 また、市議会や自治会行政連絡会などの会議、小中学校においても市歌を活用していただくよう依頼させていただきます。 市内のある町内会では、常会などの際に参加者でこの歌を歌唱しているところもあるようですので、相良地区におかれましては、区会や常会などの場でぜひ、歌唱いただき、一緒になって再度この歌で市を盛り上げていただきますようお願い申し上げます。 【担当：秘書広報課】
--	---

令和6年度 市民トーク 相良地区（7/5 開催） 質問事項・説明を希望する市政内容

件 名	⑥信号機の廃止について
内 容	先日、牧之原警察署より福岡区内の信号機の中で、交通量が少なく、近隣信号機からの距離も短いため、規定に当てはまらないことから廃止する箇所があると組長会で報告があった。 組長会で検討した結果は、全員反対でした。 この交差点は交通事故が多発していたため、信号機を設置してもらった箇所で、設置後は事故が無くなり安心できる交差点となりました。 規定に当てはまらないと言うだけで、突然信号機を廃止するという事は良いのでしょうか。 安心安全なまちづくりを考える中、市としてこれで良いのかお聞きしたい。
回 答	牧之原警察署より福岡区への信号機撤去の説明会状況につきましては報告を受けております。今回の信号機等の撤去等につきましては、令和3年3月24日付けで警察庁から「信号機設置の指針」が制定されたことに伴い、全国の都道府県において行っているものとなります。 市民生活へ直結する内容であることから、当市より県市長会の会議において、地元への丁寧な説明をお願いする旨の要望をいたしました。これを受けて県市長会長の焼津市長より県警本部へその旨の依頼をしたとの報告を受けております。 信号機の撤去等につきましては、静岡県警が判断をすることではありますが、過去の信号機設置経緯等、地元との協議を丁寧に行っていただくようお願いをしております。 【担当：危機管理課】

令和 6 年度 市民トーク
相良地区（7/5 開催）
質問事項・説明を希望する市政内容

件 名	⑦信号機撤去後の安全対策について
内 容	旧勤労者体育館前の信号機が撤去されるという話があります。 信号機の撤去後、横断する人の安全が脅かされるのではないかと心配です。 特に夜間は、トラック等自動車がかなりのスピードで通過しています。 横断歩道が確認しにくいと事故が起きそうです。 是非、発光ポールを取り付けるなどの十分な安全対策を確保してください。
回 答	牧之原警察署に状況を確認しましたが、信号の撤去及び、それに併せて横断歩道についても撤去するということを地元に説明し、了解を得ているとの回答でした。 信号の撤去後の対応について国道 1 5 0 号の管理者である島田土木事務所に確認したところ、横断歩道を撤去した箇所については、横断箇所ではないことを明確化し、安全確保を図るため、境界ブロックを設置する予定との回答でした。 【担当：建設課】

令和 6 年度 市民トーク
相良地区（7/5 開催）
質問事項・説明を希望する市政内容

件 名	⑧大河ドラマを活用した具体的な施策について
内 容	2025 年 NHK 大河ドラマ「べらぼう」に関連して、牧之原市では「大河ドラマ活用推進室」を設けて、この関係の事業計画をしているが、主に観光事業の拡大の為の具体的な施策はどのようなもので、初年度&次年度の観光収入増をどの程度見込んでいるか？ また、上記の施策を一過性のものにしない為には、田沼意次という人物を深掘りして、詳細な人物像を巷間に広く知らしめる事が必要と考えるが、これに対してどのような学術的アプローチをしていくつもりか？（令和 6 年の事業計画にこの項目無し）
回 答	市長からの市政報告にて説明させていただきます。

令和 6 年度 市民トーク
相良地区（7/5 開催）
質問事項・説明を希望する市政内容

件 名	⑨空港新駅の実現と人口流出の抑制について
内 容	牧之原市は、バス交通の便は充実しているが、鉄道がなく、全体的に利便性が良くない地域として認識され、人口流出の原因ともなっています。 これへの対応は「新幹線空港新駅」を実現させ、ここから南側（牧之原市内）へのバス路線を拡大し、通勤通学の利用を創出すべきです。 駅利用者には、無料駐車場を設置し「東京通勤通学圏、I・J・U ターンのしやすい牧之原」を実現すべきと考えますがいかがでしょうか？
回 答	市長からの市政報告にて説明させていただきます。

令和 6 年度 市民トーク
相良地区（7/5 開催）
質問事項・説明を希望する市政内容

件 名	⑩消滅可能性自治体の解消に向けた具体的な施策について
内 容	牧之原市が、消滅可能性自治体として公表されたが、その解消に向けての具体策を伺いたい。 その際、具体策の有効性の根拠を示していただけるとありがたい。
回 答	市長からの市政報告にて説明させていただきます。

令和 6 年度 市民トーク
相良地区（7/5 開催）
質問事項・説明を希望する市政内容

件 名	⑪産婦人科の設置について
内 容	市立の総合病院は各所とも「産婦人科」の医師が不足し充実していません。 榛原総合病院も同様に、「女性の人口流出」に拍車を掛けています。 産婦人科の医師を市補助のもと、高額報酬で招請し、他市に先駆けて榛原総合病院＝「産婦人科」という特色化を急ぐべきと考えますがいかがでしょうか？ （牧之原市は昨年末の統計によると、20 歳から 39 歳の人口は男性が約 4,400 人であるのに対して女性は約 3,700 人です。学齢期にはほぼ半々であった人数が、子育て世代になると 700 人ほど差がでています）
回 答	市長からの市政報告にて説明させていただきます。

「市民トーク（相良地区）」の当日参加者による質問

※会場での質疑応答になりますので、標記が口語体になる場合があります。

追加質問 ⑥信号機の廃止について

福岡区の信号機のことですが、突然警察からあそこは距離的な問題と台数の問題で、取るという話に来ました。

組長会で話をしてもらったのですが、言い方として、あそこは基準に当てはまらないから取るというような頭ごなしで、それでみんなが反発した。

要件で、台数が1時間に何百台ってあるみたいですが、役所側が1時間百何十台、福岡通りが五十何台とかということで、300台に満たないから要件に当てはまらない。

私が、もし事故があつたらどうするのかと聞いたら、それは市で道路に看板とかを設置して事故のないようにしてもらおう。

対策は市でやってもらいますというような言い方だった。

それでいいのかということで、最終的にみんなに手を挙げてもらったら、みんなが反対で、警察は持ち帰った。

その後どうなったかという話はわかりませんか？

何が何でも取ると言ったのか、それとも市へは残すと言ったのか？

【回答者（危機管理監）】

最終的にどうするかということの結論は聞いておりません。

しっかり地元と協議するように話をしていきたいと思います。

【回答者（市長）】

信号機を設置するあるいは撤去するとか、横断歩道を設置するとか、一旦停止を設置するとかやめるとかというのは、交通規制審議会と言うのがあります。

交通規制審議会は、私も委員ですし、吉田町長もなっています。

いろんな方たちが委員になっている中で、先月、交通規制審議会がございました。

そこで警察署は、国からのお達しで、とにかく信号機を極力撤去する、それから横断歩道も極力取るということで、今までコの字の横断歩道をLの字にするとか、半分

に減らす方針みたいなことで、経費削減でいかに安く上げるかみたいなことを言っていたので、私は警察に対して文句言いました。

おっしゃるように、あとの対策は市でやれ。例えば交差点をカラー舗装するとか、横断歩道を消したら緑の横断線をカラー舗装でやってくださいとか・・・

横断歩道を引く方が経費は安い。カラー舗装の方が高い。

だからそういった事を検討せずに、あるいは協議もせずに、頭ごなしに国から来た通達で動かれたらたまらない。

丁寧に説明して、地域の理解を得た上でやってくださいと署長にじかに言いましたので、強引にどんどん取ってしまうという事はないと思います。

ただ、私も感じているのは取った方が良いなと思う信号はあります。

例えば地頭方の東沢川のところは、ほとんど交通量がなく、T字で信号があるので感応式で待つてなければいけなかった。

無ければすぐ出られる。そういうところはいくつもありますので、逆にそういったところの候補を挙げて、ここは取っても良い、けどここは取っては困るというような話し合いをしていきたいと思いますということを私から警察署へ提言をしました。

また丁寧なお話いただけるとと思いますので、よろしくお願いいたします。

追加質問 ⑦信号機撤去後の安全対策について

信号機の撤去に関連して、市長の説明はありがたいと思いました。

もう一つ波津区からも出ておりますが、波津区の認識としては、横断歩道の撤去ということについては聞いておりません。

信号機撤去については、了承して進めていますが、その辺の食い違いも建設課で頭の中に入れていただいて、再度どういう形で説明をしていただけるのか、ぜひ市も認識を持っていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

【回答者（建設部長）】

区長から食い違いがあるとのお話いただきましたので、警察としっかり話をして、地元に伝えるようにしたいと思います。よろしくお願いします。